



家庭教育支援チーム  
文部科学省  
登録チーム

## 山口市家庭教育支援チームとは



山口市家庭教育支援チームは、すべての保護者の方が自信をもって子育てができるよう、家庭教育に関する講座や保護者同士の語らいの場づくり、個別相談を行っている文部科学省登録の家庭教育を応援するグループです。

### 家庭教育を応援する取組について

#### 山口市家庭教育応援サイト

『親も子も一歩ずつ』に詳しくご案内しております。  家庭教育応援サイト

#### 個別相談

聞いてほしい子育てや家庭教育に関わるお話を伺い、一緒に考えます。また、専門の相談窓口の紹介もおこないます。



個別相談申込  
メールフォーム

#### 訪問支援ダイヤル

083-928-3232 katei-support@city.yamaguchi.lg.jp

#### 家庭教育講座

市内各地域で家庭教育講座「子そだてマナビィ」を年10回程度実施しています。また、PTA活動等で、ご希望に沿った講座を行っています。



家庭教育講座  
子そだてマナビィ

#### 保護者カフェ

子育てや家庭教育に関する保護者同士の語らいの場を学校内や地域でおこなっています。お気軽にお立ち寄りください。



#### 【お問い合わせ】

山口市家庭教育支援チーム(山口市教育委員会社会教育課内)  
☎083-934-2865 E-mail katei-support@city.yamaguchi.lg.jp

お子様が中学校入学を迎える保護者の方へ

## 親も子も一歩ずつ

～ともに成長する家庭であるために～



思い通りにいかないことが多い家庭教育。変化の激しい時代の中、「自分が子どもだった時・・・」という記憶や経験だけでは、お子様が「自立」するまで、ともに歩み続けることの難しさを感じることもあるかもしれません。昔から子育ての先輩・保護者同士の語らいを通して、親は子育てのスキルアップを図ってきました。

山口市家庭教育支援チームは、話を聞いてほしい時の「個別相談」・保護者の学びの機会「家庭教育講座」・保護者同士の語らいの場「保護者カフェ」を実施し、就学前から中学卒業までの保護者の方の家庭教育を応援しています。



家庭教育支援チーム  
文部科学省  
登録チーム

山口市家庭教育支援チーム

# 親も子も一歩ずつ ～ともに成長する家庭であるために～

家庭教育でめざすことは、「子どもの自立」。お子様が、社会でよりよく生き抜く力を身につけるための家庭教育のお話

「自立」とは、他者を頼り、頼られながら生きる力。  
そのために、礼儀やマナー、他者を思いやる心、自分のおもいを伝える力、我慢する力などを身に付けられるよう、  
一歩ずつ親子で歩んでほしい。

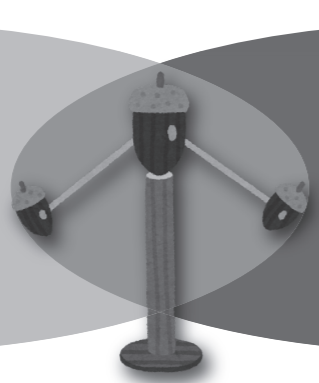
## 思春期を理解する～大人への階段を上る子どもたち～

思春期には、心身ともに目覚ましい成長を迎え、性の成熟に伴い、身体も心も大きな変化が訪れます。「自分とは何か」を強く意識し、自立への目覚めにより、親や友人など周囲の人間関係に悩んだり、自分自身や周りの変化に戸惑い、不安やイライラに揺れ動く気持ちが反抗的な態度に現れたりすることもあります。

### 成長の過程で子どもの気持ちは揺れ動きます

気持ちを分かってもらいたい。  
共感してほしい。  
助けてほしい。  
自分に目を向けてほしい。  
など

構わないで。  
ほうっておいて。  
自分で全部決めたい。  
親が恥ずかしい。  
など



子どもは揺らぎながら成長していきますが、変化になじめず戸惑うことも。目を離さずに見守りたい時期です。

### 親もモヤモヤしてしまいます…

- ・家族より友達が大事？
- ・いじめに関わっていないかしら
- ・勉強や部活動についていけるか心配
- ・何を考えているかわからない
- ・髪型や服装にこだわり過ぎてない？
- ・異性の友だちができたみたい
- ・聞いても話してくれないし…



どのように関わっていけばよいのでしょうか？

## まず、傾聴。そしてともに考える親子関係づくりを

家庭では、主に親子の関わり合いの中で、子どもは育っていきます。

いつも心掛けてほしいことは、まずは子どもの考えや思いを聴く。そして一緒に考える姿勢が大切になります。お子様の心をしっかりつかんでおくことを忘れずに。

### 思春期の関わり方のヒント

- ・あいさつは欠かさず
- ・程よい距離間、自然に話せる雰囲気作り
- ・気持ちに寄り添い、共感してあげましょう
- ・親も自分の気持ちを伝えてみて
- ・SOSを見逃さない
- ・自分らしさを大切にできる時間をもつ



### ～直接言葉で伝えにくい時～

メモや交換ノートなどを使って言葉を文字に代えてみませんか。また、気持ちを表情にのせて、「笑顔」をみせるだけでも、肯定的なメッセージになります。

## 見守り続ける

親はいつでもどんな状態でも、子どもの味方であり、応援団。子どもの一番の信頼者でいること。子どもの本来持つ力を信じることを忘れないでください。

変わり続ける関係性の先には、きっと笑顔が待っていますよ。

～一人で悩まないで。いつでもご相談ください～

山口市家庭教育アドバイザーより

